

## 次のアクションにつなげる情報

### 清瀬市

連続講座を終え、清瀬市の当初の目的であった、既に現場で活躍している方々に、「災害時の男女の視点」の必要性を理解し、共通理解を持った「顔の見える関係」を作ってもらい第1歩を踏み出すことができました。今後更なる「つながり」や「ネットワーク」を作り、市民主導型の避難所運営ができるように、講座で学んだことを広め、活かす役割を担っていただけたらと思います。

#### 自分のグループや団体で「多様な視点での防災講座」を実施したいのですが、どこに聞いたら講師を紹介してくれますか？

男女共同参画センターにおたずねください。災害時に一番気になるトイレ問題、避難所運営や支援のあり方について、男女共同参画の視点での話やワークショップの講師をご紹介できます。防災出前講座も行っています。予算や時間について気になることも遠慮なくお問い合わせください。

▶清瀬市男女共同参画センター アイレック  
☎ 042-495-7002

#### 災害時にボランティアするためにはどうすればいいですか？

市内で大規模災害があったとき、社会福祉協議会に「災害ボランティアセンター」が設置されます。災害時のたすけあいに関わる方を増やしてこうと「災害ボランティア」の事前登録者を随時募集しています。平常時は多くの方に災害時に求められる支援活動を理解していただくため、災害発生に備えた学習会、災害ボランティアセンター開設・運営訓練などを実施しています。

▶清瀬市社会福祉協議会 ☎ 042-495-5333

#### 身近な避難訓練などの防災活動をしたいけど、消防署に行ったら紹介してくれますか？

消火器訓練や煙体験などの避難訓練を消防署にお願いすることができます。消火器訓練、AED訓練は個人を対象としても実施しています。また、女性の視

点から防災知識と防災思想の普及、防災行動力の向上を目的とした「清瀬防災女性の会」もあります。

▶清瀬消防署 ☎ 042-491-0119

#### 自分の地域の避難所ってどこ？誰が運営しているの？

指定避難所は清瀬市立の小・中学校です（住所によって目安は定めています）。運営は市民による「避難所運営協議会」が行うのが基本です。現在すべての小・中学校での運営、活動ができるように準備が進められています。自分もやってみたい！など関心がある方は、清瀬市防災防犯課にご連絡ください。

▶清瀬市防災防犯課防災係（直通）  
☎ 042-497-1847

#### 防災マップはどこでもらえますか？

市役所や市内の公共施設にあります。避難所一覧の他、緊急医療救護所が設置される病院や災害用伝言板（携帯電話）のQRコードも載っています。近くの避難所を確認してみたいかどうか。裏面は「洪水ハザードマップ」になっています。

▶清瀬市防災防犯課防災係（直通）  
☎ 042-497-1847

#### 避難所に避難しなくても水、食料などはもらえますか？

もらうことができます。避難所の備蓄は基本的には避難所に避難された方を想定していますが、被災時に必要な最低限のものを用意していますので、必要な時にはお申し出ください。

ただ、避難所も基本的に発災後3日間は備蓄で賄い、それ以降は国や都から支援を受ける計画となっています。このため状況に応じた対応になりますが、まずは、公的な支援の前に自助・共助が必要であることをご理解ください。各家庭での備蓄もお願いします。

▶清瀬市防災防犯課防災係（直通）  
☎ 042-497-1847

# 東久留米市

連続講座・東久留米市コースでは、地域防災には、日ごろからのつながりや地域づくりが重要であることを伝えると共に、実際に地域に参画していくというアクションを呼び起こすことを目指しました。それが十分に伝わるとともに、回を重ねるごとに「いま、地域で動かなければ」という思いが参加者の皆さんの中に湧き上がるのが感じられました。

今後の地域や地域防災に参画いただけますと幸いです。活動をしたけれど、どこへ行けばいいのか分からないなどの疑問がございましたら、以下の機関でご相談・ご案内できますので、お気軽にお問い合わせください。

## 男女共同参画に関する情報を知りたい。男女共同参画の視点からの防災について地域で学びたい

男女共同参画に関する書籍の閲覧・貸出を行っています。阪神淡路大震災、東日本大震災の被災地の女性たちが自らの体験をまとめた書籍、報告書なども揃えています(P21をご参照下さい)。

センター主催講座開催のほか、市民企画講座や出前講座を募集しています。また、自分たちで開催される講座や勉強会へのアドバイスも行います。

▶東久留米市男女平等推進センター  
フィフティ・フィフティ ☎ 042-472-0061

## お住まいの地域の避難所運営連絡会について知りたい、訓練や活動に参加したい。

市では災害が発生し、居住する場所がなくなった際に一時的に避難生活を送る指定避難所を市内24ヶ所(小・中学校など)に指定しています。避難所の運営は地域の住民の皆さんが、協力して主体的に行うこととなります。そのため、地域の自治会などを中心に、災害時の連携について話し合う「避難所運営連絡会」が、避難所地区単位で結成されています。また、実際の災害を想定して、避難所設営訓練などを実施する地域もあります。ご自身が居住する地域の避難所運営連絡会に、ぜひご参加下さい。

▶東久留米市 環境安全部 防災防犯課  
☎ 042-470-7769

## 災害ボランティアについて知りたい。地域の防災について情報交換したい。

ボランティアをしたい人(団体)とボランティアの応援を求めている人(団体)をつなぐ中間支援組織です。活動場所の提供や各種養成講座・講演会を通じた啓発活動、情報誌などによる情報提供を行っています。

▶東久留米市社会福祉協議会 ボランティアセンター  
☎ 042-475-0739  
<http://www.higashikurume-shakyo.or.jp/volunteer-center.html>

【防災情報交換サロン】(年2回開催)

防災について、お互いに工夫を教え合う情報交換会です。聴くだけでも歓迎、興味関心のある方、ぜひご参加ください。

## WEBサイトなどで、自治会など地域で行われている防災活動の様子をなど、防災情報を見たい

以下をご参照ください。

▶東久留米のふれあい情報サイトくるくるチャンネル  
<http://kuru-chan.com/>  
東久留米市防災防犯課ツイッター  
[https://twitter.com/higashikurume\\_b](https://twitter.com/higashikurume_b)

## 東久留米市・連続講座の第2回より(P12参照)

連続講座2回目に「わたしと地域がつながる防災」としてクロスロードゲーム(講師:公益社団法人SL災害ボランティアネットワーク事務局 仁藤智治さん)とグループワークを行いました。

クロスロードゲームは発災後の刻々と変化する状況を想像して、限られた情報から、YES・NOを決断するゲームです。ゲームを通じ、自分と異なる意見・価値観を持つ可能性に気づいたり、決断力を養ったりすることができます。

グループワークでは「災害へのあなたの不安は何ですか」「何があれば不安を少なくすることができますか」の2点について意見交換し、日頃からのコミュニケーション、地域の協力や事業所なども含めた新しい地域のつながりが大切といった意見が多く出ました。

# 西東京市

今回の一連の講座を受講された方の中には、すでに地域で防災活動に取り組まれている方からこれから始めたいという方、現状を知りたい、という方まで、様々だったのではないかと思います。それぞれ、今回の講座で学んだことを具体的な活動につなげていただければと思います。

## すでに防災市民組織や避難所運営協議会で活動されている方

今回の講座を通じて得た知識や視点を生かして、今後の防災活動の中に女性や高齢者、障がい者など配慮を必要とする人たちの視点を取り入れるとともに、一緒に活動されている方々に、そのことを伝えていただくことを期待します。また、例えば地域防災計画の修正等のパブリックコメントの際に意見を提案する等のアクションも有効だと思います。様々な機会を捉えて、ご意見をお寄せいただければと思います。

▶西東京市危機管理室  
☎ 042-438-4010

## これから防災活動を始めたい方

地元の小中学校の避難所運営協議会に加入するなどして活動されることが考えられます。危機管理室または避難所となっている小中学校にお問い合わせください。また、防災市民組織を立ち上げたい、という方も危機管理室で相談をお受けします。

▶西東京市危機管理室  
☎ 042-438-4010

## 防災ボランティアとして活動してみたい

社会福祉法人西東京市社会福祉協議会の西東京ボランティア・市民活動センターにお問い合わせください。

▶西東京ボランティア・市民活動センター  
☎ 042-466-3070

## 女性防災リーダーとして活動されたい方

上記のような活動のほかに、例えば自主グループを作ってさらに学習を進めたい場合は、西東京市男女平等推進センターパリテで活動場所の提供や情報の提供などについてご案内いたしますので、お気軽にご相談ください。

▶西東京市男女平等推進センター パリテ  
☎ 042-439-0075

今回受講された皆様の活動により、災害時に女性の視点を取り入れることの必要性がさらに多くの人に理解され、実際に災害が起きたときに、女性や配慮が必要な人たちの負担が軽減された状況となるよう、男女平等推進センターとしても今後様々な機会を捉え、広めていきたいと考えていますので、ご意見をお寄せいただければと思っております。

## イベント・連続講座の第1回より (P13 参照)

イベントの講義の後、西東京市障がい児の自立を考える保護者の会「ぶーけ」の久松順子さん



久松順子さん 飯塚和幸さんに障がい者の視点から、避難所運営協議会委員で民生委員の保谷征男さんに避難所を運営する立場から、それぞれ災害時の支援のあり方、配慮の必要性などについて話をさせていただきました。

連続講座の第1回は「防災、西東京市の現状は？」でした。危機管理室職員からは「市の防災（いつもと違う目線で）」と題して避難情報、避難する場所、災害時必要な備えを自助、共助、公助の視点からの話。健康課職員からは「災害と防災 様々な視点で考えてみると…」と題して育児・介護・看護等日常ケアが必要な方への配慮と日常の備えについて。西東京ボランティア・市民活動センターの飯塚和幸さんからは災害ボランティア活動の内容と支援を受ける受援力の必要性の話がありました。いずれも平時における備えや地域での協力、つながりが重要で、誰かがやらなければならないだけでなく、誰もがやらなくてはいけないという言葉に共感の声があがっていました。